

会津学鳳高等学校の生徒との共同研究の開始について

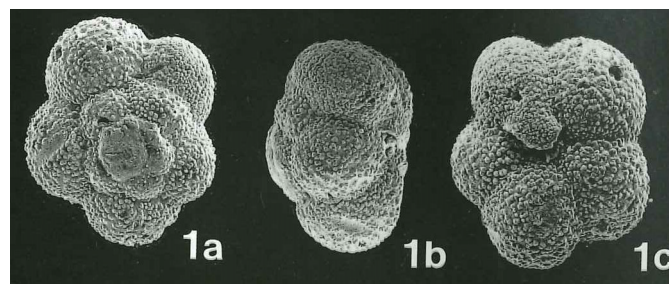
ポイント

- ①会津学鳳高等学校のスーパーサイエンスハイスクール事業との共同研究を開始する。
- ②生徒・教員と学芸員が協力して、アンモナイトと共産する有孔虫化石について研究する。
- ③県立博物館において次年度以降に研究成果の展示を目指す。

概要

共同研究概要

- (1) 研究活動名 スーパーサイエンスハイスクール事業
探究活動「双葉層群から産する微化石の研究」
- (2) 共同研究者 当館自然分野学芸員 (猪瀬弘瑛、吉田純輝、相田優)、
会津学鳳高等学校の生徒 10 名、教員 (菅家奈未先生)
- (3) 期間 令和 3 年 6 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで
- (4) 研究背景 いわき市周辺には双葉層群という中生代白亜紀の地層が広がっている。
アンモナイトやフタバズキリュウなど多くの化石が産出することで有名である。これまでこの地層の年代は主にアンモナイトに基づいて研究されてきた。アンモナイトなどとともに有孔虫という小さなプランクトンの化石が産出することは知られていたものの、詳しい研究はされてこなかった。
高校生の手によって年代など新しい発見がされることを期待している。
- (5) 成果公表 研究成果が出れば、学術論文としての公表はもちろん県立博物館での展示も次年度以降に行う予定である。



有孔虫化石の例 (相田ほか, 1998)

お問い合わせ先

福島県立博物館 主任学芸員 猪瀬弘瑛 (いのせ ひろあき)

Tel : 0242-28-6000 Fax : 0242-5986 E-mail : general-museum@fcs.ed.jp